

学習指導要領	千早高校 学カスタンダード
A 話すこと・聞くこと ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。 イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。 ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。 エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	・根拠を示しながら自分の考えを話すことができる。 ・目的や場に応じて、分かりやすく適切な言葉で話したり、メモを取りながら聞き取ったりすることができる。 ・グループの話し合いなどで、相手と自分の共通点や相違点をとらえ、自分の考えに生かすことができる。 ・相手や場に応じた語句の使い方、態度、論の構成など、自己や他者の良い点・直すべき点を指摘することができる。

学習指導要領	千早高校 学カスタンダード
B 書 く こ と ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。 イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	・与えられた題材に即して、自分が体験したことや考えたこと、身の回りのことなどから、相手や目的に応じた材料を収集することができる。 ・事実・意見・引用を区別し、根拠を示しながら自分の考えを明確にすることができる。 ・事実や事柄などを具体的に説明したり、手順や理由などを順序立てて説明したりすることができる。 ・構成の仕方や語句の使い方などの良い点・直すべき点を指摘することができる。

学習指導要領	千早高校 学カスタンダード
C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	【現代文】 - 文章の形態（小説・評論・韻文など）における表現の特色を意識しながら読むことができる。 【古典】 古文 - 歴史的仮名遣いに注意して音読することができる。 漢文 - 漢文の基本的なきまり（訓点・再読文字・置き字・句法など）に従って音読することができる。 【現代文】 - 筆者の主張と具体例とを区別し、主張を中心に要約することができる。 【古典】 古文 - 基本的な用言・助動詞・敬語、係り結びなどを理解して、文章を読み取ることができる。 漢文 - 訓点や、基本的な再読文字（未、将など）・置き字（於、而など）・句法（否定、使役など）について理解して、文章を読み取ることができる。 【現代文】 - 各場面での登場人物の言動や心情を読み取ることができる。 【古典】 古文 - 人物（誰が）、場面（いつ、どこで）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。 漢文 - 人物（誰が）、場面（いつ、どこで）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。 - 各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読み取ることができる。 - 情景や心情の変化に注意して、作品全体の筋（ストーリー）をとらえることができる。

学習指導要領		千早高校 学カスタンダード
	オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。	・読んだ文章を評価することを通して、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。

学習指導要領	千早高校 学カスタンダード
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。 イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。 (イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。	・基本的な古典知識（月の異名、十二支など）を知る。 ・中国の文字や書物の影響のうち基本的なもの（故事成語など）を知る。 ・歴史的仮名遣い、基本的な用言の活用（「活用表が完成できる」など）、基本的な助動詞（「ず」「けり」など）、係り結び、敬語などを理解する。 ・訓点や基本的な再読文字（未、将など）・置き字（於、而など）・句法（否定・使役など）について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。 【現代文】 ・熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係などを理解する。 【古典】 ・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読むことができる。 【現代文】 ・比較的平易な文章の段落構成（序論・本論・結論、起承転結など）を理解する。 【古典】 ・基本的な漢語（不、使、也、欲、乃など）の意味を知る。 ・常用漢字の大体を読み、書くことができ、文や文章の中で使うことができる。

